

だいすき おかあさん

静岡県 浜松市立豊岡小学校 一年

伊藤 秀人

ぼくは、ほいくえんにはいるまえに「ぜんそく」というびょうきになりました。せきがいつばいでて、くるしいです。いつもとつぜん「ぜんそく」になります。くるしいです。おかあさんは、そうなる時いつも「ごめんねごめんね。」といてからだをさすつてぎゅつとしてくれます。ぼくは、おかあさんほわるくないのにとおもいます。

なんでかという時、おかあさんほいつもぼくといっしょにいてくれます。あさおきるとき、ごはんをたべるとき、おふろにはいるとき、おやすみするときもです。

ぼくは、おかあさんのつくつてくれるごはんがすきです。とつてもおいしいので、たくさんたべます。はやくおおきくなつて、ぼくがおかあさんをまもつてあげるとやくそくしました。だからたくさんたべます。

おかあさんはごはんの時も、おさけのみません。ぼくが「おかあさんほおさけきらいなの」ときくと、おかあさんは「きらいじゃないよ。」といてました。「じゃあなんで

のまないの。」とぼくがきくと、おかあさんは「ひでとがぜんそくになつたら、おかあさんびょういんにつれていけないですよ。」といてました。

ぼくはおかあさんのつくつてくれるごはんをたくさんたべてはやくおおきくなつて、こんどはぼくがおかあさんをまもつてあげます。いつもぼくといっしょにいてくれてありがとうございます。いつもぼくを「だいすきだよ」といてくれてありがとうございます。ぼくもおかあさんがだいすきだよ。